

建設総合統計からみた埼玉県内の建設投資

はじめに

建設投資は、おおむね住宅投資と設備投資を合わせたものであり、その額は埼玉県内経済全体の約2割を占めている。建設投資の動向をみることは、県内経済の推計を行う上で有用であることから建設総合統計により把握を試みた。

(注) 建設総合統計とは、国土交通省が「建築着工統計」や「建設工事受注動態統計」をもとに、月々の着工ベースの金額から出来高を推計し建設活動を総合的に把握することを目的とした加工統計。

埼玉県は民間工事の構成割合が高いといえる(図表1)。

また、建築工事が1兆5,574億円で全体の73.1%を占め、土木工事は5,734億円で26.9%を占めている。全国ベースでは、建築工事が全体の57.1%、土木工事は42.9%を占めており、埼玉県は建築工事の構成割合が高いといえる。

埼玉県が全国に比べ民間工事や建築工事の割合が高いのは、民間居住用建築工事が全体の49.7%を占め、全国の34.4%に比べ15.3%と大幅に上回っていることが要因となっている。首都圏のベッドタウンとして本県の住宅需要が他県に比べ強いことがうかがえる。

1. 埼玉県の建設工事出来高の内訳

埼玉県の建設工事出来高をみると、平成20年度は全体で2兆1,308億円となっている。このうち民間工事は1兆6,537億円で全体の77.6%、公共工事は4,771億円で22.4%を占めている。全国ベースでは、民間工事が全体の65.6%、公共工事は34.4%を占めており、

2. 埼玉県の建設工事出来高の10年間推移

埼玉県の建設工事出来高は、平成10年度に2兆6,737億円であったものが、平成20年度には2兆1,308億円と10年間で20.3%も減少した。(図表1、2)

図表1. 建設工事出来高の内訳

	埼玉県				全国			
	平成10年度 (百万円)	平成20年度 (百万円)	構成比 (%)	20年度/10年度 増減率 (%)	平成10年度 (百万円)	平成20年度 (百万円)	構成比 (%)	20年度/10年度 増減率 (%)
総計	2,673,707	2,130,795	100.0	-20.3	67,198,076	49,174,850	100.0	-26.8
民間	1,684,441	1,653,668	77.6	-1.8	35,793,721	32,251,647	65.6	-9.9
建築	1,513,945	1,478,044	69.4	-2.4	30,219,239	25,822,674	52.5	-14.5
居住用	1,110,468	1,060,023	49.7	-4.5	20,613,889	16,892,438	34.4	-18.1
鉱業、建設業、製造業用	102,921	112,273	5.3	9.1	1,869,116	2,391,508	4.9	27.9
商業、サービス業用	184,094	293,630	13.8	59.5	5,267,778	6,054,063	12.3	14.9
その他	116,462	12,118	0.6	-89.6	2,468,456	484,666	1.0	-80.4
土木	170,496	175,624	8.2	3.0	5,574,482	6,428,973	13.1	15.3
公共	989,266	477,127	22.4	-51.8	31,404,355	16,923,204	34.4	-46.1
建築	221,937	79,349	3.7	-64.2	5,041,643	2,252,929	4.6	-55.3
居住用	36,507	20,355	1.0	-44.2	1,172,860	475,709	1.0	-59.4
その他	185,429	58,994	2.8	-68.2	3,868,783	1,777,219	3.6	-54.1
土木	767,330	397,778	18.7	-48.2	26,362,712	14,670,275	29.8	-44.4
一般	459,020	289,465	13.6	-36.9	20,117,284	11,628,151	23.6	-42.2
企業	308,310	108,314	5.1	-64.9	6,245,428	3,042,124	6.2	-51.3
(再掲)建築計	1,735,881	1,557,392	73.1	-10.3	35,260,881	28,075,602	57.1	-20.4
(再掲)土木計	937,826	573,402	26.9	-38.9	31,937,195	21,099,248	42.9	-33.9

(資料) 国土交通省「建設総合統計」

この間、民間工事は1兆6,844億円から1兆6,537億円にわずか1.8%の減少に止まったが、公共工事は9,893億円から4,771億円に51.8%と大幅に減少した。同期間、全国ベースでは全体で26.8%減少、このうち民間工事が9.9%減少、公共工事が46.1%減少となった。公共工事は厳しい財政事情のもと大幅な削減が行われたが、埼玉県では民間工事の減少が1.8%と小幅に止まった。その中味をみると、居住用建築工事が4.5%の減少(全国：18.1%減)に止まる一方、商業、サービス業用建築工事が59.5%(全国：14.9%増)と大幅に増加した。

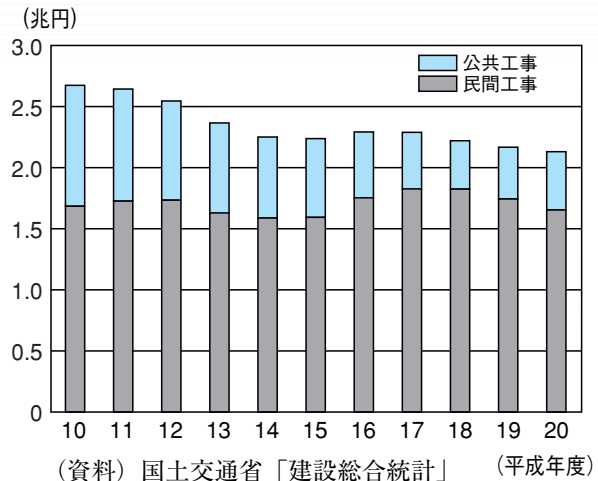
また、民間の建築工事を使途別にみても、平成10年度から平成20年度の10年間で、店舗が61.8%増(全国：17.1%減)、倉庫が31.5%増(全国：2.1%増)と大幅に増加した(図表3)。県内では、ショッピングセンターなどの大規模商業施設、大型物流施設の建設投資が旺盛であったことがみてとれる。

3. 埼玉県の公共工事の内訳

埼玉県の公共工事の内訳を種類別にみると、平成20年度は道路が1,613億円で最も多く、全体の34.7%を占めている。次いで、下水道が13.0%、上・工業用水道が9.7%、土地造成が9.5%、治山治水が9.4%などとなっている(図表4)。

公共工事が、全体では平成10年度から平成20年度の10年間で大幅に減少するなか、道路は21.2%の減少に止まり、土地造成は178.5%増となっている。近年における圏央道の道路工事、これに伴う産業団地の整備がすすめられていることによるものとみられる。

図表2. 埼玉県内の建設工事出来高の推移



図表3. 民間建築工事の内訳

使途別	埼玉県			全国	
	平成10年度 (百万円)	平成20年度 (百万円)	20年度/10年度 増減率 (%)	20年度/10年度 増減率 (%)	
民間	1,513,945	1,478,044	-2.4	-14.5	
住宅	1,110,468	1,060,023	-4.5	-18.1	
事務所	56,033	45,269	-19.2	-9.0	
店舗	57,379	92,815	61.8	-17.1	
工場・作業所	85,456	85,998	0.6	37.4	
倉庫	54,170	71,225	31.5	2.1	
学校	17,481	16,941	-3.1	-5.9	
病院	26,878	29,292	9.0	-43.6	
その他	106,079	76,481	-27.9	-14.8	

(資料) 国土交通省「建設総合統計」

図表4. 公共工事の内訳

種類別	平成20年度 (百万円)	20年度 構成比 (%)	20年度/10年度 増減率 (%)
合計	465,181	100.0	-52.6
土木計	399,880	86.0	-48.1
治山治水	43,664	9.4	-45.5
農林水産	7,983	1.7	-74.4
道路	161,293	34.7	-21.2
港湾空港	35	0.0	-87.4
下水道	60,629	13.0	-54.2
公園	4,125	0.9	-89.4
災害復旧	2,660	0.6	-16.1
土地造成	44,340	9.5	178.5
鉄道軌道	1,119	0.2	-98.1
電気・ガス	306	0.1	-97.5
上・工業用水道	44,912	9.7	-67.3
維持補修	9,153	2.0	-9.2
廃棄物処理	11,024	2.4	-
その他	8,635	1.9	-80.4
建築計	65,301	14.0	-69.0
居住用	25,313	5.4	-56.0
その他	39,988	8.6	-73.9

(資料) 国土交通省「建設総合統計」